

昭和55年8月26日 第三種郵便物認可 平成4年7月10日発行 (毎月1回10日発行)

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



高龍寺(山門)

No. 132 函館商工会議所報
1992—7月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

| | | | | | |
|--------|----------------|-------------|-------|-------------------|-------------------|
| 本店 | 函館市豊川町15番20号 | TEL22-1247代 | 亀田支店 | 函館市亀田本町56番4号 | TEL42-3820代 |
| 松風町支店 | 函館市松風町11番15号 | TEL23-6221代 | 中道支店 | 函館市中道1丁目24番12号 | TEL51-1711代 |
| ばんだい支店 | 函館市宮前町14番15号 | TEL41-6236代 | 上磯支店 | 上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号 | TEL73-2151代 |
| 五稜郭支店 | 函館市本町30番24号 | TEL52-0511代 | えさん支店 | 亀田郡恵山町字中浜115番の4 | TEL84-2111代 |
| 弁天支店 | 函館市弁天町13番11号 | TEL26-3646代 | 七飯支店 | 亀田郡七飯町字本町392番8 | TEL65-2501代 |
| 千代台支店 | 函館市千代台町12番22号 | TEL51-5238代 | 木古内支店 | 上磯郡木古内町字本町53番1 | TEL木古内 2-3121代 |
| 湯川支店 | 函館市湯川町2丁目18番7号 | TEL57-1492代 | 知内支店 | 上磯郡知内町字重内13番地の11 | TEL知内 5-5611代 |
| 花園支店 | 函館市日吉町1丁目27番3号 | TEL53-5521代 | | | |

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎代23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572代
- 上磯支店 ☎73-2308代
- 美原支店 ☎46-9121代
- 十字街支店 ☎26-5544代
- 花園支店 ☎55-2110代
- 富岡支店 ☎43-1311代

●ともえ 7月号 (通巻132号) 目次

今月の表紙／視点…………… 2

1

会議所の動き

- ・本所第2回通常議員総会開催
- ・道新幹線・現駅乗入れ促進期成会総会開催
- ・第42回全道商工会議所大会開催
- ・観光土産品試買検査会
- ・国際交流事業活発化!
- ・大店審へ意見書を初提出

データを手エック…………… 6

調査レポート…………… 6

地域の景気—金融経済概況—(五月)

市内第一種大規模小売店舗売上高(五月)

平成三年度 観光客入込み数…………… 10

上講演…………… 11

経営者のガン予防 (4)

人の使い方 **【交付意見の】**…………… 12

共済推進コーナー…………… 12

ティータム…………… 13

暮らしのワンポイント 「汗じみの予防と
その上手なとり方」…………… 14

さわやか君…………… 15

有段を目指して 詰碁・詰将棋…………… 14

アドバイスコナー…………… 15

賃金・諸手当の決め方と考え方 (4)…………… 16

Q & A…………… 17

みんなの相談室 **【税務相談、
労務相談】**…………… 18

案内…………… 19

小規模企業振興委員制度…………… 18

会員サービス事業ご利用のおすすめ…………… 19

函館港まつり主要行事日程…………… 20

告知板…………… 20

講習会ご案内…………… 20

92ミニ経済情報はこちら **【好評発売中】**
ご利用下さい! 本所の個別専門相談…………… 20

◆今月の表紙

高龍寺(山門)

船見町の魚見坂を登りきった地点に建つ高龍寺は、寛永十年(一六三三年)松前の曹洞宗法源寺の末寺として亀田村(現在の万代町付近)に建てられたのが始まりで、市内で最も古い寺院である。

宝永三年(一七〇六年)箱館の弁天町に移転後、幾度かの大火の為に焼失し、明治十二年(一八七九年)今の地に移転した。

明治三十三年(一九〇〇年)に完成した本堂は、ケヤキやヒバ材を用いた素晴らしいもので、当時の名工といわれた越後(新潟県)柏崎の四世篠田宗吉を棟梁として建てられた。

さらに、同四十三年に完成した山門も総ケヤキ造りで、東北以北かつての大加蓋といわれ、明治時代末期の貴重な木造寺院である。

視 点

今年も半分を過ぎ、観光シーズン真盛りの夏を迎えました。先月末より天候も回復し、梅雨のないすがすがしい北海道を目指して、観光客の動きも一応順調のようです。

函館への観光客は、昨年度五〇六万人を記録し史上最多の入込数となりましたが、これはほんの五年前には、予想もされなかった数字で、本当に喜ばしい限りです。

しかし、次の五年後、そして十年後も、この五年間のように、大幅な観光客の増加が期待できるでしょうか。勿論このための観光資源の整備や、受入れ施設の拡充が地元でなされたとしても、もう一つ、全国からこの函館に来ていただくための足の問題、言い換えれば、全国の高速交通ネットワークの中に、きちんと函館を組み込むことを、その前提条件として考えておく必要があります。

現在の函館は、東京、大阪など本州主要都市との航空路線はもっておりませんが、この二大都市圏への増便は困難ですし、やはり高速交通機関としては、航空機のはかに新幹線そして高速自動車道が必要です。しかし、高速自動車道は七飯・長万部間の着工がまだ決定しておらず、竣工も未定です。ただ新幹線については、東北新幹線が平成十二年後に青森迄完成の予定で工事が進められていますので、札幌迄の北海道新幹線建設を基本としつつも、東北新幹線の竣工にあわせ、青森・函館の同時開業を目指し、北海道新幹線の着工を今こそ関係方面に強く要望し、その実現はかり地域の振興発展に役立てていかねばなりません。

本所第2回 通常議員総会開催

本所第二回通常議員総会は、去る六月二十五日、本所会議室において、議員八十六人（うち委任出席四十一人）が出席して開催され、六月十六日の第三回常議員会で議員総会に提案することが決定された、平成三年度の事業報告並びに収支決算等を審議し、いずれも原案どおり承認されました。

会 議 所 の 動 き



▲総会の冒頭挨拶する若林会頭

議事に先立ち、道商連及び本所表彰規程により表彰を受けられた議員並びに職員に対し、表彰状の伝達が行われました。

次いで若林会頭から「今後の地域経済振興のためには、1 東北新幹線の早期建設と青森・函館の同時開業
2 テクノポリス函館第二期計画の推進と基金に対する協力
3 姉妹都市の提携など国際交流の推進

4 会議所活性化のために、部会、委員会などでの論議とともに、正副会頭等との意志疎通を図っていききたい

の大綱四点について挨拶がありました。

次いで議事に入り、まず報告事項として議員の異動や陳情要望活動、第四十二回全道商工会議所大会についての報告の後、各部長、委員長などより、それぞれ報告がなされましたが、いずれも異議なく了承されました。

次いで附議事項の審議に入り、まず関連する平成三年度事業報告と同収支決算が一括上程され、それぞれ原案どおり議決されました。

次に、部会運営規約の一部改正、常議員一人の補充選任、鹿児島商工会議所との姉妹盟約について順次提案がなされ、いずれも原案どおりそれぞれ議決、決定されましたが、概要は次のとおりです。

◎平成三年度事業報告

各種事業活動の特記すべき事項として、青函インターブロック交流圏構想に基づく国土庁及び北海道開発庁の整備計画の決定、東北

新幹線の着工など高速交通網の整備促進、テクノポリス函館の第二期計画の策定、国際交流委員会の設置、函館経済団体協議会の設置等について説明がなされました。

◎平成三年度収支決算

収入の部では、決算額は予算比一・九％増の三億二三八九万円となり、また支出の部では、二億八五〇四万円で次年度繰越金は三八八五万円となった旨の説明がなされました。

◎常議員一人補充選任の件

欠員となっていた常議員一人の補充については、次の方が選任されました。

吉田恭平議員 北海道瓦斯

函館支社常務取締役函館支社長

◎鹿児島商工会議所との姉妹盟約

鹿児島商工会議所より、創立一〇年を記念し本所と姉妹盟約を締結したい旨の申し入れがあり、本所としても、この申し入れを受諾することを決定し、来たる十月八日の鹿児島商工会議所創立一〇年記念式典予定の調印式をめざし、提携内容等について協議を進めていくこととなりました。

道新幹線・現駅乗入れ 促進期成会総会開催

北海道新幹線建設促進期成会（会長・横路北海道知事）の総会が去る六月八日札幌市において開催され、また、新幹線現函館駅乗入れ促進期成会（会長・若林本所会頭）の総会が、去る六月二十四日本所でそれぞれ開催されました。

まず北海道新幹線建設促進期成会の総会では、木戸浦函館市長、若林本所会頭らが出席し、平成三年度の事業報告と収支決算、平成四年度の事業計画と収支予算についての審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。次いで今年度の活動方針について横路知事から北海道新幹線の早期着工を実現するためには、今後、新幹線の路盤で狭軌の車両を走らせるスーパー特急方式の導入も財源対策上止むを得ないとの説明がなされました。これに対し木戸浦函館市長からは「従来から運動してきたフル規格の青函トンネル活用により、青森・函館の同時開業という既定の方針を継続することを重視

すべきである」との強い発言があり、また、本所若林会頭からも「新幹線のルートについては、飛行機と競争するような直進ということではなく地域経済に及ぼす効果ということも考えて、地域の発展に寄与するものを考えてほしい」との強い要請もなされました。

これらを踏まえて同期成会では、去る六月十二日、函館―青森間については、青森開業時における函館同時開業の観点から、首都圏から直行することができ、時間短縮効果の高い新線を建設することが望ましいという表現に変更されま

第42回全道商工会議所大会開催

第四十二回全道商工会議所大会は、去る六月十日富良野市で、道内四十一商工会議所から正副会頭、議員等六百三十名が、また本所からは、若林会頭及び副会頭など七名が参加して開催されました。午前中には四会場に分科会（金

した。北海道新幹線については、八月上旬に総決起大会を開催する一方で、強力な陳情要望活動を展開していくこととなりました。

また、新幹線現函館駅乗入れ促進期成会の総会では、平成三年度事業報告と収支決算、平成四年度事業計画と収支予算がいずれも異議なく承認されたほか、任期満了に伴う役員改選も行われ、現役員の留任と新たな七名の役員選任がなされました。

次いで議案終了後、函館市企画部横井計画推進室長を講師に「新幹線問題の最近の動向について」と題する講演が行われ、新幹線問題に対する認識をより深めました。

北海道東北開発公庫の機能のより一層の拡充強化とともに、函館市への本店移転について強い要請がなされました。

また商工振興分科会では、高野副会頭からロシア極東地域との経済交流に係わる条件の整備促進等について強い要望がなされました。午後からの本大会では、地元富良野の津山会頭を議長に議事が進められ、まず午前中に討議された議案について各分科会の委員長よりそれぞれ報告が行われ、二十六の議案と特別提案三件が満場一致で議決されました。

最後に、大会宣言決議では、多様化し高度化する社会に対応し、経済の動向を迅速、的確に把握し、地域商工業の改善、発展に努めるとともに、グローバルな視点に立ち、当面する課題の解決に一致団結し邁進するとの宣言を行い、さらに本日決定された諸事項の実現を期しての決議を採択して盛會裡のうちに閉会しました。

なお、今大会において決定された議案は、逐次関係機関に陳情・要望することになっております。

観光土産品 試買検査会開催

夏の観光シーズン本番を前に、観光土産品の過大包装や不当表示、表示義務違反などを一掃し、当地域を訪れる観光客に、安心して土産品を購入していただくため、みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会主催による「第二十二回観光土産品試買検査会」が、去る六月三十日日本所において開催されました。

当日の検査会では、函館や大沼などの主要観光地周辺の土産品店で販売されている商品の中から、無作為に試買された七十八品（農水産物加工品四十四品、菓子類三十四品）が、公正取引委員会や函館観光協会などからの審査員八名により、全国観光土産品公正取引協議会で定める公正競争規約に基づき、禁止されている「アゲゾコ」等の過大包装や事実と異なる不当表示、さらに製造年月日等の表示義務事項にそれぞれ違反がないか、厳正な審査が行われました。

その結果、過大包装で四点、不当表示、量目不足、表示義務違反で各一点の計七点が不合格となり、また、そのうち六点が近年の当地域の観光ブームにより、他都市より参入した業者によるもので、当地域業者に比べ観光土産品の表示や包装の改善に対する認識の低さがみられます。また、この他、製造年月日等表示の一部に若干の不備のあった商品十一件に対しても、同協議会より改善指導等が行われました。

国際交流 事業活性化!

函館市では、市制施行七十周年を記念し、国際交流を中心に各方面にわたる活発な事業を予定していますが、本所としては、今後特に重要性を増してくる国際交流事業を推進していくこととしております。

以下、主な国際交流事業の内容についてお知らせします。
▽ハリファックス（カナダ）姉妹都市提携十周年記念訪問

（本所小笠原副会頭参加）

六月二十八日～七月七日

▽ウラジオストク（ロシア）市開放記念式典（函館市代表団訪問）

（本所若林会頭、野崎総務課長

参加）六月三十日～七月五日

▽函館日英協会設立総会

（七月二十一日）

▽函館市とウラジオストク市姉妹都市提携調印式（七月二十八日）

（七月三十日）

▽国際友好都市サミット

（七月三十日）

▽函館市とレイク・マコーリー市

姉妹都市提携調印式

（七月三十一日）

▽旧イギリス領事館「開港記念館」開館記念式典（七月三十一日）

▽函館市市制施行七十周年記念式典（八月一日）

▽函館とウラジオストク少年交流事業一行来函（八月一日）

▽シンガポール政府観光局と函館観光協会との観光姉妹提携調印式（八月三日）

▽函館の物産と観光―ハワイ展（八月十八日～八月三十日）

大店審へ意見書を初提出

部会運営規約の改正に伴い、設置された商業部会幹事会の第一回会合が、去る六月十二日、本所会議室で開催されました。当日は、改正大店法の施行により、新たな案件に対する商工会議所としての意見書を、大店審会長宛提出することが規定されたことにより、既に函館ダイエー（株）より届出がされていた案件（同社、万代店他四店の法第九条第三項八年間休業日数の削減、現行二十四日→一日）の届出並びに同社柏木店の法第六条第二項八店舗面積一六一㎡の増加（届出）に対する商工会議所としての意見の取りまとめを行いました。

協議では、年間休業日数の削減については、①五店の店舗面積の合計が六千九百㎡に及び、その影響は、消費者利便の確保を勘案しても、なお地元中小業者や既存商店街等に対する大きな影響、②労働時間短縮への逆行の恐れ、③特に中立的立場の学識経験者が一致して現行どおりの年間休業日数を意見とした点等を総合的に勘案、変更する必要はないとして、また店舗面積の増加については、届出どおりの意見を取りまとめ、会頭に報告の上、六月十五日付けで会頭名をもって大店審会長宛意見書が提出されました。

なお、大店審では、年間休業日数は十二日、店舗面積の増加は届出どおりとする結果になりました。



事務局日誌

6月

*正副会頭会議

- 5(金) 第16回正副会頭会議
- 25(木) 第17回正副会頭会議

*総会

- 25(木) 第2回通常議員総会

*常議員会

- 16(火) 第3回常議員会

*監査会

- 2(火) 監査会

*会議(道商連)

- 9(火) 第149回全道商工会議所専務理事事務局長会議
- 10(水) 第42回全道商工会議所大会
- 30(火) 第109回常議員会
- 〃 第117回通常会員総会

*会議(日商)

- 8(月) 平成4年度商工調停士研究会
- 9(火) 倒産防止特別相談室設置商工会議所担当者講習会

*部会

- 12(金) 商業部会幹事会

*委員会

- 8(月) 総務委員会

*総審査会

- 2(火) 小企業等経営改善資金審査会
- 19(金) 小企業等経営改善資金審査会

*諸会議

- 1(月) 箱館奉行所復元促進期成会
- 〃 婦人会例会(植樹)
- 〃 青函インターブロック交流圏構想推進協議会推進委員会
- 3(水) 函館市人材確保推進協議会幹事会
- 4(木) 函館経営者協会役員会、総会
- 〃 函館警察交友の会総会
- 〃 市民生協旭岡店の休業日数の変更申し入れに伴う協議会
- 5(金) 平成4年度みなみ北海道観光連盟通常総会
- 6(土) 市民創作「函館野外劇の会」総会
- 8(月) 北海道新幹線建設促進期成会平成4年度総会
- 9(火) (仮称)函館シンガポール協会設立発起人会
- 11(木) 箱館奉行所復元促進期成会役員会、総会
- 〃 平成4年度中小企業向け融資制度等説明会
- 12(金) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会正副会長と常任幹事との懇談会
- 〃 湯の川温泉街活性化推進懇談会
- 15(日) 平成4年度渡島地方職業病防止対策連絡協議会通常総会
- 〃 箱館五稜郭祭券金委員会

- 16(火) 函館販売士協会平成4年度定時総会
- 〃 平成4年度渡島支庁管内商工労働観光施策推進会議
- 17(水) 平成4年度函館地域デザイン振興連絡会議
- 〃 明治生命との懇談会
- 20(土) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会事務打合せ会議
- 22(月) 地域経済調査研究会
- 〃 所報「ともえ」7月号 No.132編集会議
- 〃 札幌財務局地域経済動向聴き取り調査
- 24(水) 婦人会役員会
- 〃 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会総会
- 25(木) 榎シース(フォーブス日本版)函館経済動向に関する取材
- 26(金) 榎函館シーホートプラザ第3回定時株主総会
- 〃 岡田新一氏との懇談
- 〃 平成4年度第1回振興委員連絡会議
- 〃 北海道労働保険事務組合連合会道南地区協議会平成4年度通常総会
- 〃 税務指導協議会
- 29(月) 開港133周年記念函館港まつり「万人踊りパレード説明会
- 〃 開港133周年記念函館港まつり企画委員会
- 〃 第41回青年会議所全国会員大会連絡会議
- 30(火) 第15回北海道生命共済振興会総会

*講習・催物

- 1(月)・2(火)・3(水) } 簿記実務講座
- 4(木)・5(金)
- 12(金) 経営相談
- 24(水) 白色申告者記載開始説明会
- 26(金) 法律相談

*刊行物

- 所報「ともえ」6月号 No.131
- '92企業ガイドブック
- '92ミニ経済情報はこたて

*相談・診断

- 金融 124 税務 52 経理 6 経営 97 労働 0
- 取引 0 その他 5 合計284

*貸室 20

*文書 受信 219 発信 23

*検定試験

- 14(日) 第76回簿記検定試験
- 28(日) 第133回珠算能力検定試験

*慶弔・その他

- 5(金) 北海道拓殖銀行藤野公毅頭取表敬訪問
- 6(土)~7(日) 宝くじスホーツフェア"あなたのまちに名球会かやってくる"歓迎レセプション等
- 10(水) 函館館司業会魚貝塚移設修祓式典
- 12(金) 函館業業組合創立百周年記念式典、祝賀会
- 13(土) カール・レイモン本社工場披露
- 16(火) クルーズ客船「飛鳥」お披露目内覧会
- 17(水) 還境岸保険企画課石橋係長、公害健康被害予防協会込田係長、稲見係長表敬訪問
- 19(金) 平成4年度第1回四共済ゴルフコンペ
- 22(月) 本所顧問、元会頭加藤昇氏逝去
- 23(火) 日本青年会議所じゅがいのクラブ第21回東日本地区ゴルフ大会
- 26(金) 本所顧問、元会頭加藤昇氏告別式
- 28(日)~7(日) ハリフオックス姉妹都賀10周年記念訪問
- 29(月) 鹿児島商工会議所松元副会頭表敬訪問、昼食懇談会
- 30(火) N T T 町町新店舗開設記念パーティー
- 〃 ~7(日) 若林会頭、野崎課長ウラシオストク開放記念式典出席訪問

年比2桁増となっている。一方、民需は、市内新設住宅着工戸数が持家の増加を背景に1年5か月振りに前年を上回ったが、マンション、ホテル等の大型案件は依然低調に推移。こうしたなか、建設筋の一部に、受注単価引下げにより仕事量を確保する動きが散見されている。

(5) 農・漁業

水稲等農作物の生育は、天候不順により全般的に遅れ気味。

6月解禁の近海真イカ漁は、目下の処まらずまずの水揚げをみているものの、平均魚価は魚体が小さいことから弱含みで推移。

(6) 消費関連

5月中の市内大型小売店（10店）売上は、百貨店筋で衣料品の不振を背景に引続き前年割れしているものの、量販店筋にバーゲンセール奏功やリニューアル効果から売上を伸ばした先がみられており、全体では前年比2.2%の増加。また、耐久消費財をみると、自動車販売は、各車種とも総じて盛上りを欠いており、登録台数が引続き前年を下回ったほか、家電販売もAV商品をはじめ、パソコン、

ワープロ等情報家電が伸び悩んでいる。この間、観光・レジャー面をみると、各観光宿泊施設では修学旅行生の増加等を背景に前年並みの入込みをみている。

3. 金融事情(5月中)

実質預金は、月末休日に伴う高止まり等から月中84億円増と前年の41億円減とは様変わり増加となったが、引続き企業の手元流動性圧縮等の動きもみられ、預金地合は総じて不冴え裡に推移した。一方、貸出しも、休日要因等から月中71億円増と前年の4億円増を上回る増加となったが、設備・運転需資とも依然盛上りに欠けた。

この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、利下げの浸透を映じ、短期を中心に月中0.094%のマイナスと引続き低下した。

銀行券は、曜日構成等を背景に受入れが少なかったため、月中108億円と前年の182億円を下回る還収超となった。

財政収支は、公共事業関係費の支払いや郵便局の受入れ減等から、前年の受超4億円に対し、月中64億円の払超となった。

データをチェック!

所得に左右されるゆとり

～ 労働時間と自由時間 ～

豊かさゆとりを実感できるかどうかの鍵は、自由時間にあるといわれます。さしずめ働く人にとっては、労働時間の短縮ということになるでしょうか。

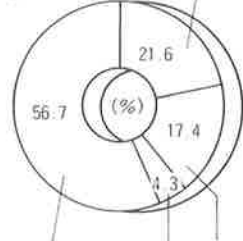
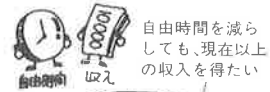
現に、働く時間を減らしたいという人は多く、全体的な傾向としては短縮傾向にあります。しかし、この問題は、収入との関連で考えてみる必要があります。労働時間が減れば、それだけ収入にひびく場合が多いからです。

「収入が減少しても良いから労働時間短縮を希望するか」の意識調査（平成元年）では、希望する人とならない人が半々という結果が出ています。

一方、「自由時間を減らしても現在以上の収入を希望するか」の問い（平成二年）には、「自由時間が減るくらいなら収入は現在のままでよい」が56.7%、「自由時間を減らしても現在以上の収入を得たい」が21.6%、「どちらともいえない」が17.4%となっています。

このように、収入との関係でみると、労働時間を短縮して自由時間を増やしたほうがよいとは、単純にはいえないようです。

自由時間と収入についての考え方



自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままでよい
 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい
 どちらともいえない
 わからない



1. 概況

最近の管内経済動向をみると、建設関連は一部に動意が窺われるものの、民間建築工事を中心に依然低迷しているほか、製造業における慎重な生産スタンス継続や受注鈍化に加え、個人消費関連でも売上鈍化がみられる等、全体として管内の経済活動は引続き減速している。

すなわち、製造業では、造船が新造船建造を主体に高めの操業を続けているほか、電子部品でもこれまでの生産抑制姿勢を緩和しつつあるが、一方で、水産加工、乳製品は売れ行きが徐々に鈍化しており、木材・木製品も住宅着工の停滞から低調な生産を余儀なくされている。また非製造業では、観光関連がまずまずの入込みをみているほか、建設筋では、金利低下を背景に持家建築に動意が窺われるが、マンション、ホテル等大型建築案件の不振から、建築を主体とする先を中心に引続き業者の仕事量は減少している。さらに乗用車等耐久消費財でも前年を下回る販売が続いているほか、百貨店の売上もこのところ衣料品を中心に伸び悩んでいる。

こうしたなか、5月に実施した管内企業短期経済観測調査結果によると、足許の企業の売上、生産は民間建設関連業種の不芳に加え、消費関連の一部鈍化から低調に推移、企業収

益も3年度決算が減益となっており、企業の業況判断は、5年振りに「悪い」とする先が「良い」とする先を上回っている。

5月の金融動向をみると、預金、貸出しとも月末休日要因等から増加したものの、総じて引続き不冴え裡に推移。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、利下げ浸透から短期を中心に低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械

電子部品（半導体、水晶振動子）は、依然慎重な生産スタンスで臨んでいるが、半導体では米国景気回復期待等から、また、水晶振動子も内外の受注増を背景に、徐々に抑制姿勢を緩和しつつある。一方、一般機械では、水産加工関連が伸び悩んでいるものの、合板・製缶関連は安定した需要を背景にほぼ前年並みの生産態勢を維持している。また造船は新造船建造を主体に総じてみれば高めの操業を続けている。

(2) 食料品

水産加工では、問屋筋の買注文が小口化しているため、これまでに比べ幾分慎重な生産姿勢で臨む先が漸増しつつある。乳製品も、飲用乳の売れ行き鈍化を背景に練乳への生産シフトを行っているが、当該在庫は前月に比べさらに増加している。また、飼料・魚油では、依然前年を下回る売上が続いている。

(3) その他製造業

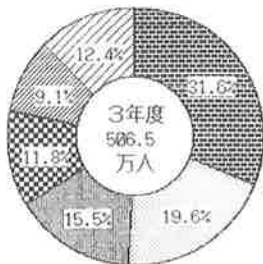
段ボールは、青果物向け等が伸び悩んでいるものの、水産物向けの引合い増から前年を上回る出荷となっている。セメントは、国内需要が伸び悩むなか、東南アジア向け輸出増を背景に前年並みの生産を続けている。一方、合板は、住宅着工停滞を眺めた需要家の当用買いから低調な生産を継続しており、漁網の生産も引続き不冴え裡に推移している。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注は、足許の発注がやや遅れ気味ながら、予算総額では前

図 - 3

交通機関別利用率



- バス
- 津軽海峡線
- 函館本線
- 乗用車
- フェリー
- 航空機

図 - 4

交通機関別入込数等

(単位：千人、%)

| | 交通機関別入込数・利用率 | | | | | |
|--------|---------------|-------------|---------------|------------|-------------|-------------|
| | 海峡線 | JR本線 | バス | フェリー | 乗用車 | 航空機 |
| 昭和60年度 | 657 24.1 | 633 23.2 | 651 23.9 | 268 9.8 | 321 11.8 | 200 7.3 |
| 昭和61年度 | 643 21.5 | 612 20.5 | 856 28.6 | 296 9.9 | 370 12.4 | 213 7.1 |
| 昭和62年度 | 877 25.6 | 598 17.5 | 973 28.4 | 317 9.3 | 425 12.4 | 233 6.8 |
| 昭和63年度 | 1,158 29.2 | 669 16.9 | 1,049 26.5 | 391 9.9 | 448 11.3 | 248 6.3 |
| 平成元年度 | 930 21.7 | 646 15.1 | 1,466 34.2 | 418 9.8 | 478 11.1 | 349 8.1 |
| 平成2年度 | 950 20.5 | 699 15.0 | 1,525 32.8 | 437 9.4 | 492 10.6 | 542 11.7 |
| 平成3年度 | 992 19.6 | 784 15.5 | 1,599 31.6 | 461 9.1 | 599 11.8 | 630 12.4 |

※ 上段：入込数、下段：利用率

図 - 5

函館市観光客人込数

(単位：千人、%)

| | 観光客人込数 | | | 前年度 対比 | 宿泊・日帰り別 | |
|--------|--------|-------|-------|-----------|---------|-------|
| | 道外 | 道内 | 計 | | 宿泊 | 日帰り |
| 昭和60年度 | 1,594 | 1,135 | 2,729 | 105.1 | 1,467 | 1,242 |
| 昭和61年度 | 1,759 | 1,231 | 2,990 | 109.6 | 1,628 | 1,362 |
| 昭和62年度 | 2,134 | 1,289 | 3,423 | 114.5 | 1,851 | 1,573 |
| 昭和63年度 | 2,562 | 1,401 | 3,962 | 115.7 | 2,153 | 1,809 |
| 平成元年度 | 2,673 | 1,614 | 4,287 | 108.2 | 2,400 | 1,887 |
| 平成2年度 | 2,960 | 1,685 | 4,645 | 108.4 | 2,636 | 2,010 |
| 平成3年度 | 3,332 | 1,731 | 5,063 | 109.0 | 2,943 | 2,120 |
| 3年 4月 | 167 | 95 | 262 | 108.0 | 116 | 146 |
| 5月 | 457 | 279 | 736 | 110.6 | 441 | 294 |
| 6月 | 472 | 265 | 737 | 110.5 | 442 | 295 |
| 7月 | 436 | 233 | 669 | 111.8 | 401 | 268 |
| 8月 | 571 | 282 | 853 | 107.7 | 512 | 341 |
| 9月 | 464 | 222 | 686 | 114.3 | 336 | 350 |
| 10月 | 294 | 133 | 427 | 104.2 | 232 | 195 |
| 11月 | 136 | 65 | 202 | 101.1 | 127 | 74 |
| 12月 | 75 | 33 | 108 | 105.7 | 75 | 33 |
| 4年 1月 | 58 | 31 | 89 | 93.9 | 73 | 17 |
| 2月 | 97 | 35 | 132 | 105.4 | 89 | 43 |
| 3月 | 105 | 57 | 162 | 108.9 | 98 | 65 |

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成4年5月

| 品名 | 売上高(千円) | 対前月比(%) | 対前年同月比(%) |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 衣料品 | 3,009,079 | 94.8 | 96.2 |
| 身の回り品 | 832,632 | 116.6 | 119.6 |
| 雑貨 | 727,206 | 86.4 | 95.9 |
| 家庭用品 | 674,484 | 81.8 | 99.5 |
| 食料品 | 1,880,379 | 99.7 | 106.1 |
| 食堂・喫茶 | 166,431 | 101.4 | 101.1 |
| サビ | 99,285 | 88.1 | 94.6 |
| その他 | 558,959 | 105.0 | 117.2 |
| 総計 | 7,948,455 | 96.3 | 102.2 |

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

観光客 入込み数

〈平成3年度〉

函館市では例年、当市を訪れる観光客の入込み状況について調査・推計しております。

平成3年度の概要についてお知らせいたします。

観光客入込み数の概要

平成3年度の来函観光客数は、前年度 464万 5,193人に対して 9.0%増加の 506万 3,389人で初めて 500万人を突破し、依然として観光ブームによる順調な入込みが続いています。

増加の主な要因としては、(1)大阪～函館線の増便などの航空機輸送能力のアップ (2)北海道ブームによる観光客の来道 (3)メモリアルシップ摩周丸やここだてオルゴール明治館、第2明治館のオープンなど観光資源・施設の整備充実 (4)湾岸戦争の余波による海外旅行から国内旅行への振替え (5)雲仙・普賢岳の噴火による九州方面客の移動 (6)「夜景の日」のPRなど観光客誘致対策ならびに各種宣伝効果の浸透 (7)所得水準の向上や労働時間短縮による余暇時間の拡大を背景とした国内旅行の活発化などが考えられます。

季節別では、4～6月が前年度を10.2%上回る 173万 4,737人、7～9月が同10.9%増の 220万 8,128人、10～12月は同 3.6%増の 73万 6,963人、1～3月が同 3.8%増の38万 3,561人と、特に春夏の観光客の増加が目立っています。

また、利用交通機関別では、乗用車が前年度比21.6%増と大幅な増加となったほか、航空機、JR函館本線も2桁台の伸びを示しています。

一方、道南の入込み数は、函館市を含む渡島が 1,154万 8,184人、前年度比10.1%増で、桧山は 168万 2,784人、同 2.3%増となり、合計では 1,323万 968人、同 9.0%の増加となりました。

図 - 1

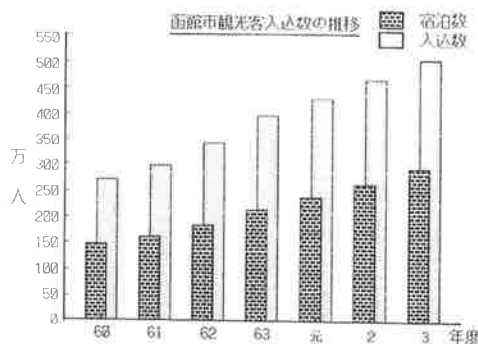
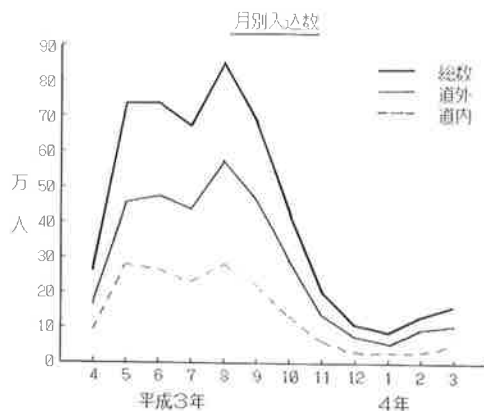


図 - 2



口はガンのもと、食事と喫煙に注意

—ガンを防ぐための12カ条—



経営者のガン予防 (4)

癌研究所 主任研究員 医学博士 坂元 吾偉

ガンを防ぐにはガンの発生原因を知ることが必要です。ガンの研究は日一日と進歩してきましたが、真の意味でのガンの発生原因はいまなお不明です。しかし、現在までに多くの事実が明らかにされてきています。

古典的なガン発生の原因論として有名な「ウィルヒョウの刺激説」は、正常細胞に慢性の刺激が加わり細胞が死ぬと、それを修復するために周囲の細胞が再生と増殖を繰り返し、そのうちに異型的増殖を起こしてガンになる、とする学説です。この刺激とはガン発生の外因であり、それには物理的・化学的・生物学的因子があります。

ここでいう刺激（外因）について考えると、一般の人よりも特定の物理的因子（例えば放射性物質）や化学的物質に高濃度・長時間にわたってさらされる場所に働いていた人に、より多くみられる「職業ガン」があります。

職業ガンに対して一般の人

の場合のガン発生の外因は生活環境のなかに含まれていません。

■ ガン発生要因は口から

環境とガン発生の関係について、英国の疫学者ドール博士は1982年に、どのような生活環境因子がガンの発生要因として関係するかということについて、図1の通り膨大なデータを基に解析した研究結果を発表しました。

ドール博士の報告によると、全てのガンによる発生要因のうち35%が食事、30%が喫煙に関係するとされています。食事と喫煙、さらにアルコールや食品添加物を加えると、実にガンの発生要因の80%が口から入ってくることになります。口は禍いのもとならぬ「口はガンのもと」にもなるわけです。

食事や嗜好習慣がガンの発生に関係することは、宗教的理由で、「肉食はしない、酒やコーヒーは飲まない、タバ

コは吸わない」モルモン教徒に、ガンの発生が非常に少ないことから明らかです。

■ ガン予防は日常生活で

ガンの発生要因をできるだけ追放し、ガンの発生を予防しようとするのが一次予防です。

現在生きている私達が、全くガンにかからないようにするのは無理としても、ある程度はこれを防ぐことができると考えられています。そこで、ガンの発生を予防しようと考えられた日常生活の指針が、表1に示す「ガンを防ぐための12カ条」です。

この12カ条のひとつひとつは、どれをみても平凡に思えるかもしれませんが、いずれもガンの発生要因についての科学的根拠のある疫学データや実験データに基づいています。

ガンの一次予防は日常生活の中にあります。

つづく

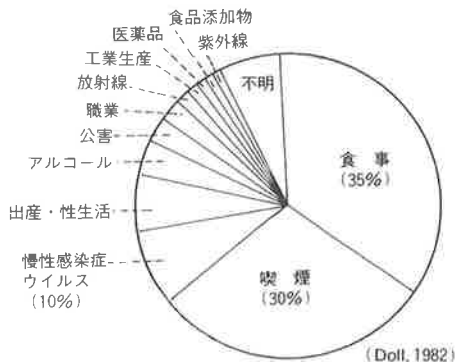


図1 ガンの発生要因

表1 ガンを防ぐための12カ条

1. バランスのとれた栄養をとる
2. 毎日、変化のある食生活を
3. 食べすぎを避け、脂肪は控えめに
4. お酒はほどほどに
5. タバコは少なくする
6. 適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
7. 塩辛いものは少なめに、熱いものはさましてから
8. こげた部分は避ける
9. カビのはえたものに注意
10. 日光にあたりすぎない
11. 適度にスポーツをする
12. 身体を清潔に



職場で働いている人々をみてみると、組織や上司の指示や要求に対してほとんど反対することなく従う服従型。これとは逆に何事によらず反対を唱える反抗型。あと一つは少数派ではあるがその中間でクールな判断で従うか反対するかを決める知性型と三大別できる。このうちの者が最も扱い易いのは服従型で、どこの企業でもこうしたタイプを歓迎する。しかし、このタイプの者の多くは、はっきり言う能力に自信がないか、気が欠けているのかのいずれかの者である。

次の反抗型であるが、このタイプは異質の考え方とか情報を提供してくれるということから役に立つことも少なくない。このタイプの者は、自分をアピールする手段



反対意見のいろいろ

として反抗するのがほとんどであるから、部分的にでも彼らの意見をとり入れてやれば協力的になってくれるからだ。ただこの反抗型の一部には、こうすべきだといった対策もなく反抗する者もいる。こうした者は確かに扱いにくい。

最後は知性型であるが、これは反対するにしても、企業の現状とか、業務の実態を十分に認識したうえで、どうするのがよいかを十分に考慮して反対する。

このタイプの者の関心はより好

ましい状態を作りだしていく建設的なもの、創造的なものであるから、反対される立場にある企業の幹部はこの知性型の者の反対にはよく耳を傾けることが必要である。

経営幹部や管理者の中には自分の考えに反対する者は何事によらず嫌う者がいるが、これはたいへんな心得違いである。

というのは、企業が存続、発展していくためには常に経営環境の変化に適応していかなばならぬが、この適応は現状を打破し、新たな体制なり、ノウ・ハウなりを確立していくことが必要であり、この過程で各種の摩擦が発生するのは当然であり、それを良識で処理してこそ好ましい適応が生じていくものである。

そしてこの過程での摩擦すなわち問題点が反対という形ででてくるのであるから、これを嫌うことは、よい適応を自ら放棄するようなものだからである。

(群馬女子短期大学教授・内田 知二)

70年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 7月15日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181内線63番)にお申込み下さい。